

企画・開発から貿易まで一貫した事業を展開する「産業織物メーカー」

# 株式会社ニットク



## 「Small & Global」で世界にアピール！

織物の伝統を受け継ぐまち、勝山で羽二重生産からスタートしたニットク。時代とともに非衣料分野へと進出し、スクリーン印刷用メッシュや車載用や医療用に使われる各種フィルター用メッシュ、土木・建築用重布織物、各種高強力織物などの産業資材用織物など多分野にわたる製品を生み出しています。企画・開発から製造・貿易まで一貫した事業を展開しているのも当社の大きな強みの一つ。「Small & Global」をモットーに織維の新たな価値を創造し、ここ勝山から世界に存在感をアピールする「産業織物メーカー」を目指しています。



## 数ミクロンの異常を探り当てる人の「手」と「目」

ニットクの製品は世界でもトップクラスの品質！各分野で高い評価を受けています。実は、その製品づくりには人の「手」と「目」が欠かせません。例えできあがった製品を検査する工程では、スタッフが織物の隅から隅まで目を通し、やさしく触ることによって、機械では判別できないようなわずか数ミクロンの異常も見つけ出してしまうのです。職人技ともいえるこの技術は、創業以来、熟練のスタッフから若手に向けて、脈々と受け継がれてきました。時代とともに製織技術は変化しても、「人の技」の大切さは変わることはありません。

## 可能性に満ち溢れている織維。 入社2年目には中国研修も。

当社では応募時に職場を見学し、業務や社内の雰囲気などありのままの姿を見ていただく機会を設けています。当社の最終製品は普段目にすることの少ないかもしれません、実際にものづくりの様子をご覧いただいくと、さまざまな分野で応用できる“織維の可能性”を感じていただけると思います。2017年からは入社2年目の社員を対象にした中国研修もスタートしました。当社の中国工場をはじめ、現地の大きなマーケットを体感していただくことで、グローバルな感覚を身につけていただきたいと考えています。（代表取締役 江守 哲郎）



## 製造社員さんの一日に密着

主な仕事内容

製造技術

製品管理

当社の製品は分業制。最新の設備機器を駆使し、合成繊維や金属・カーボン繊維に世界レベルの加工を施していきます。まずはすべての工程を経験してものづくりの流れを理解していただき、得意分野に応じて業務をお任せしていきます。

5:30  
仕事開始  
ラジオ体操

作業準備  
前日のメモを確認しながら整頓の準備をします

7:15~8:00  
休憩・食事  
会社補助のお弁当もあります

製造作業

早番が退社するのと交代で遅番が出社します！  
13:30  
退社

当社は社員の95%が奥越地区といふ「地元採用」の会社なんですよ！



代表取締役  
江守 哲郎さん

## 会社の雰囲気について

毎月の給料明細は社長から手渡しされるなど役職者との距離も近く、アットホームな雰囲気。BBQやソフトボール大会等の交流会も多く、年次や部署を超えた社員同士の交流も大切にしています。定着率も高く、出産・育児休業を経て復帰している女性社員も多数活躍しています。当社のものづくりは複数の工程があるため、人と人との連携が欠かせません。普段から育まれた社員たちの円滑なコミュニケーションが、仕事の場面でも大いに生かされています。

### Company's Profile

#### 株式会社ニットク



〒911-0811 福井県勝山市片瀬10-1  
TEL 0779-87-3500 FAX 0779-87-3505 URL <http://www.nt-jp.com>

設立 1987年11月25日  
代表 代表取締役 江守哲郎

資本金 4,800万円

従業員数 250名

平均年齢 38歳

勤務時間 本社／勝山市片瀬10-1・荒土工場／勝山市荒土町新保9-1

東京営業所／東京都千代田区鍛冶町1-6-15 井門神田駅前ビル7F

上海日特織物有限公司／中国上海市嘉定区外岡鎮外岡工業園区淮賢路333 P.C.201806

8:00~17:00／(2交代制)13:30~21:30・5:30~13:30

健康保険・厚生年金保険・雇用保険・労災保険・慰安旅行・親睦会など



事業内容

産業用資材織物の製造



織維の仕事は連携が大切！  
部署を越えて、  
協力하겠습니다。



## STAFF INTERVIEW

高校を卒業後、県外の大学に進学しましたが、いずれは住み慣れた勝山で働きたいと考えていました。小さい頃、親が織維関係の仕事をしていたこともあり、織維業界のことを調べたところ、ニットクのことを知りました。実際にこの会社で働いてみると、一つの製品をつくるためにさまざまな工程があることや、多くの人が関わってつくり上げられるものだということが驚きでしたね。地元にいた時にはあまり織維のことを知らなかったのですが、ニットクの多種多様な製品や技術を学ぶと、織維業界にはまだまだ可能性があるなと感じます。現在は製造技術の部門で糸を織るまでの準備工程を担当していますが、技術者としてのこだわりや誇りを持ち、一つひとつの作業を大切にしながらいいものを作っていくたいですね。